



Monthly Topics

令和7年中の飲酒運転事故について



千葉県警察シンボルマスコット シーポック

飲酒運転による交通事故は、厳罰化などにより長期的には減少傾向にあるものの、千葉県内ではいまだに悲惨な飲酒運転事故が後を絶ちません。

千葉県警察では、飲酒運転根絶に向けた取締りの強化や広報啓発活動などを強力に推進していますが、県民の皆さんも一人一人が「**飲酒運転は絶対しない、させない、ゆるさない**」という強い意志を持ち、千葉県全体で飲酒運転を根絶しましょう。

令和7年中の飲酒運転事故※の概要

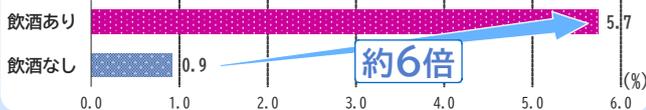
※第1当事者が四輪車・二輪車(原動機付自転車含む)かつ飲酒運転の交通人身事故

飲酒運転事故件数の推移

千葉県内における、令和7年中の飲酒運転事故は87件(前年比-45件)と減少しましたが、うち死亡事故は前年と同数の5件発生しました。

死亡事故率は「飲酒なし」の約6倍！

死亡事故件数÷人身事故件数×100=死亡事故率(%)



飲酒運転事故件数の推移 (千葉県内)



※飲酒運転による死亡事故件数は、飲酒運転による交通人身事故件数の内数

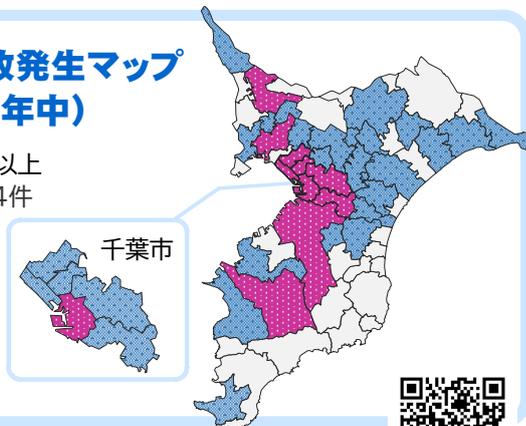
飲酒運転事故発生状況

令和7年中に、県内54市町村のうち28市町村(51.9%)で飲酒運転事故が発生しました。

5件以上発生したのは、千葉市(16件)※、船橋市(9件)、市原市(9件)、柏市(8件)、君津市(5件)となっています。 ※高速道路・自動車専用道路で発生した事故(2件)を含む

飲酒事故発生マップ (令和7年中)

■ …5件以上
■ …1~4件



最新の飲酒運転事故データはこちら ▶▶▶ 千葉県警察ホームページ「飲酒運転根絶に向けて」

飲酒運転を根絶するために

お酒を飲んだら
絶対に運転しない NO



運転する人にはお酒を
飲ませない NO



お酒を飲んだ人には
運転させない NO



- 公共交通機関等を利用、飲酒する場所へ車両で行くのを避ける
- 翌日に運転する予定があるときは、飲酒量・時間を考慮する

- 運転する可能性がある人には、お酒を勧めたり飲ませたりしない
- 飲食店側は、運転する可能性がある人にお酒を出さないよう対策する

- 飲酒運転のおそれがある人の車に同乗しない
- 飲食店側は、帰りの交通機関の確認などの対策をとる

飲酒運転は
犯罪です

飲酒運転
した人



車両を提供した人
お酒を提供した人

車両に同乗
した人

飲酒運転を「させる」行為も
処罰される場合があります

